

NEWS RELEASE



2024 年 1 月 26 日
日本新薬株式会社
広 報 部

各 位

日本新薬の温室効果ガス排出削減目標が SBTi の承認を取得

日本新薬株式会社（本社：京都市南区、代表取締役社長：中井 亨、以下「当社」）は、当社の温室効果ガス排出削減目標が Science Based Targetsイニシアティブ (SBTi) から科学的根拠に基づく目標として承認を取得しましたので、お知らせします。

＜当社の温室効果ガス排出削減目標＞

- ・ 2020年度を基準に、2030年度の温室効果ガス排出量（スコープ 1+2）を42%削減する
- ・ 2020年度を基準に、2030年度の温室効果ガス排出量（スコープ 3 カテゴリ 1）を25%削減する

スコープ 1: 自社での燃料の使用や工業プロセスによる直接排出

スコープ 2: 自社が購入した電気、熱の使用に伴う間接排出

スコープ 3 カテゴリ 1: スコープ 1、2以外のサプライチェーンにおける間接排出のうち、
購入した製品・サービスによるもの

当社は、今後も日本新薬環境基本方針に基づいて環境保全活動の継続的な改善に取り組み、持続可能な社会の実現を目指します。



SBTiイニシアティブ (SBTi) について

SBTiは、CDP、国連グローバルコンパクト (UNGC)、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF) の4つの機関により共同運営されています。「パリ協定」の目指す世界の平均気温の上昇を産業革命前と比較して1.5℃以下に抑えるという目標に向け、企業に対して科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標を設定することを推進しています。

詳細はSBTiのWebサイト (<https://sciencebasedtargets.org/> 英語) をご参照ください。

日本新薬について

日本新薬は、経営理念「人々の健康と豊かな生活創りに貢献する」のもと、病気でお困りの患者さんご家族にとって必要となる特長あるくすり創りを通して、社会から信頼される企業を目指しています。当社が取り扱っている製品等、詳細な情報については <https://www.nippon-shinyaku.co.jp> をご覧ください。

以上